

本時のねらいと展開
「きつね」



1. 本時のねらい

お母さんに対する文六の気持ちの変化を考えることを通して、父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくらうとする心情を育てる。

2. 本時の展開

学習活動	指導上の留意点
1. 「きつね」を視聴して話し合う。 発問①「一番心に残ったことは、どんなことですか」	
<ul style="list-style-type: none"> ・お母さん狐が文六狐のために犠牲になったこと。 ・文六が、家族のために薪をくべていたこと。 ・文六が狐になったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの感想を授業展開に生かすようにする。
発問②「お父さんに『お母さんにその態度はなんだ』と怒られた時、文六はどんな気持ちだったでしょう」	
<ul style="list-style-type: none"> ・薪なんてくべなくていいや。 ・お母さんが下駄を買っておいてくれなかったのが悪いんだ。 ・お母さんの言うことなんて聞かなくてもいいや。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のことより自分のことを第1に考える文六の気持ちを理解させる。
発問③「母さん狐が撃たれた時、文六狐はどんな気持ちだったでしょう」	
<ul style="list-style-type: none"> ・わがママを言わなければよかった。 ・もうお母さんに会えない。 ・お母さんの大切さがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わがママを言ったことを後悔する文六の気持ちに共感させる。
発問④「文六は、どんな気持ちでストーブに薪を入れていたでしょう」	
<ul style="list-style-type: none"> ・お父さんやお母さんに頼まれた仕事は、ちゃんとやろう。 ・お父さんやお母さんを大切にしよう。 ・いつまでもお父さんやお母さんと一緒にいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かせる。 ・文六の気持ちが変わった理由も考えさせる。
2. これまでの自分と家族とのかかわりを振り返り、家族を大切にできなかった経験を話し合う。 発問⑤「自分は家族から大切にされているのに、家族を大切にできなかったことはありますか」	
<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんが、仕事で疲れて帰ってきて食事の用意をしているのに、自分がお腹が空いていたので、「早くして」と言ったことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かせる。 ・家族を大切にできなかったことを振り返ることにより、家族を大切にしようという気持ちに発展させるようにする。